

【注意！】

こちらは令和3年度の内容となります。あくまでも「ご参考」にさせていただきます。

令和4年度においては開催要項が決定次第、改めてご案内いたします。

「事例の作成について」及び「事例提出様式」については、必ず「令和4年度」のご案内をご確認下さい。

【参考⑨】

令和3年度沖縄県主任介護支援専門員研修 事例の作成・提出について

1. 提出方法・提出期日

受講決定通知の際の「(別紙3)提出書類等について」を確認し、指定された期日までに、ご提出ください。(メール提出するデータ、郵送または持参にて提出する書類があります。)

2. 提出する事例について

(1) 事例の選定

1	<ul style="list-style-type: none"> 研修における「演習」では、各自が実践した事例を持ち寄り、研修を行います。 提出された事例は、共通事例として使用(受講者全員へ配布)する場合がございます。取扱いについて十分に理解したうえで、ご提出ください。 														
2	<ul style="list-style-type: none"> 以下A～Gの7つのテーマの視点での実践事例を【1つ】提出してください。 介護予防事例、施設事例もしくは終了事例でも構いません。 申込の際に申請した事例のテーマでご提出お願いします。 1つの事例に、テーマが複合的に含まれていても結構です。その場合、最も取り扱いたいテーマを選択してください。 提出事例を選ぶ考え方として①支援方法に迷った(迷っている)②支援が難しかった(難しい)③支援に困った(困っている)など自己の過去の支援を振り返りたい、現在の支援を見直したいと感じた事例を選定してください。 *事例提出にあたり、本人や家族、事業所の承諾を得る必要がありますので、承諾が得られる範囲で結構です。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>看取り等における看護サービスの活用に関する事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>認知症に関する事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D</td> <td>入退院時等における医療との連携に関する事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">E</td> <td>家族への支援の視点が必要な事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">F</td> <td>社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">G</td> <td>状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※テーマの選択については、「4. 参考」をご確認ください。</p>	A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	C	認知症に関する事例	D	入退院時等における医療との連携に関する事例	E	家族への支援の視点が必要な事例	F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	G	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例														
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例														
C	認知症に関する事例														
D	入退院時等における医療との連携に関する事例														
E	家族への支援の視点が必要な事例														
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例														
G	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例														
3	<p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該利用者及び家族・事業所(施設)の許可を得て提出してください。 提出事例の作成にあたっては、対象とした要介護者等のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報にあたる部分(氏名・住所・電話番号・生年月日・サービス事業所名等)は必ず消すようにしてください。 提出いただいた事例を確認し、「事例の選定」の条件に満たないと思われるものについては、沖縄県に相談のうえ、再提出または受講取消となる場合があります。 <u>事例の提出がない場合は、研修の受講はできません。</u> 														

(2) 提出する事例の様式・作成方法

次の順番「0～4」の様式を作成してください。

順番	様式名	書き方・注意事項等
0	提出事例について	・「0～3」は、指定様式「(別添2) 事例演習シート (エクセルデータ)」となります。 ・「0」は、研修用に追加したシートです。 ・「1～3」は、「沖縄県版共通アセスメント様式 Ver.2.0」と同じシートです。当協会ホームページ (URL: https://www.okicare.jp/) に掲載されている「活用マニュアル」をご参照ください。 注意 ・マスキングに注意してください。 ・個人名・事業所名・住所・電話番号等は必ず消してください。
1	基本情報シート	
2	アセスメントシート	
3	課題整理総括表	
4	ケアプラン1～3表	・居宅サービス計画書 第1～3表 ・施設サービス計画書 第1～3表 ・介護予防サービス・支援計画書

(3) 事例の提出方法

前項(2)様式「0～3:(別添2)事例演習シート(エクセルデータ)」、

様式「4:ケアプラン1～3表(PDF・※個人情報マスキングに注意)」を、

令和3年10月7日(木)23:59までにメールにて提出する。

提出先メールアドレス ⇒ 4shunin@okicare.jp

3. マスキングについて

マスキングの基本

◎ 利用者個人が特定されないこと

個人情報とは

- ・利用者・家族
氏名、住所、電話番号、生年月日 など
- ・主治医、サービス事業者
名称、氏名、所在地、電話番号 など

◎ 検討資料になること

消しただけ、または消してしまうと事例の理解が進まなくなるものに留意

- ・性別、年齢、続柄、認定区分
- ・関係機関、関係者、出身地については、アルファベットで表す。
※ イニシャルではなく、A(本人)から順次付ける
※ 受講者(提出者)の氏名は、マスキング対象外です。

マスキング（個人情報消し込み）のルール

- (1) 個人情報に関する部分は修正液（修正テープ）で消した上でコピーをしてください。
 ※マジックや個人情報を消すためのスタンプでは、コピーをしたときに文字が浮き上がることがあります。出来るだけ修正液（修正テープ）を使用してください。
- (2) マスキング後の表記方法
- ・利用者氏名 ⇒ 利用者本人の氏名は「Aさん」に統一してください。
 - ・生年月日、住所、連絡先 ⇒ 全て消してください。（年齢は記載する。）
 - ・利用者家族、親族、サービス提供者等の氏名や連絡先
 - ・主任介護支援専門員「更新」研修の場合は、指導・支援事例となりますので、事例提供者（担当介護支援専門員）の勤務先名、所属する他の職員の名前も消してください。
 ⇒ 利用者以外の名前は「妻」「兄」などの続柄で表してください。
 - ・受講者（提出者）の氏名は、マスキング対象外です。

《消し忘れの多い項目》

- ・基本情報 ⇒ 利用者の出身地や地名、利用者家族の氏名・電話番号等（続柄は記載）
 - ・課題分析（アセスメント） ⇒ サービス提供者等の氏名・電話番号
- ※1枚目は全て消していても、2枚目以降消し忘れているということが多く見受けられます。

4. 参考

- ・提出する事例のテーマの選択について、下記の表のキーワード例を参考にしてください。

《参考選択表》

項目	テーマ	キーワード例
A	リハビリテーション及び福祉用具に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用 等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について 等
C	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がい取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況等
D	入退院時における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
F	社会資源活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
G	状態に応じた多様なサービス(地域密着サービスや施設サービス等)の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービス対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護活用 等